

## 3か月内に登録された団体のご紹介

### ■ 団体

伊丹小学校区自治協議会  
伊丹こどもホスピスプロジェクト  
阪神北鍼灸マッサージ師会チームストップ・フレイル  
BASEいたみ  
NPO クリーン&コネクト兵庫

(敬称略)

### ■ 個人

寺本 ありさ  
竹本 繁幸

(敬称略)

SNSで情報発信中！ フォローしてね！



Instagram



ホームページ



X



Facebook

## まちプラモニターについて

まちプラモニターが大きくなりました！

スワンホールに来館される方へ、団体活動の広報にぜひお役立てください。

利用したい方は、まちプラに電話・メール等でお問い合わせください。



## 数字で見るまちプラ利用状況

令和7年度の市民まちづくりプラザの利用状況

相談件数 486件

講座開催 69回 (参加者数 724人)

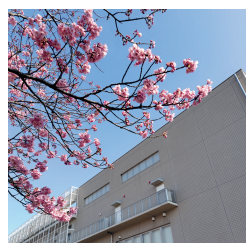
案内 (団体紹介など) 28件

訪問件数 59件

※相談は来所による面談だけでなく、電話・メールも含まれます

2025年度のご利用ありがとうございました。  
2026年度も伊丹市の市民活動が活発になるよう、サポートしていきたいと思っていますので、お気軽にまちプラをご利用ください。

## 編集後記



桜とスワンホール

2026年度最初の発行を迎え、「まちプラびより」もいよいよ2年目に突入です！  
昨年度の最終号でお約束した通り、今年度も『市民まちづくりプラザ』の情報をしっかりお届けできるよう、充実した誌面づくりに取り組んでいきます。

また、今号の4ページ目では、2025年度の活動成果を数字でまとめてご紹介しています。その数字をさらに上回れるよう、スタッフ一同、皆さんにより寄り添いながら日々の業務に励んでまいります。

今年度も、市民まちづくりプラザをどうぞよろしくお願いいたします！

## 伊丹市立市民まちづくりプラザ

TEL : 072-780-1234 / MAIL : [icm.puraza@gmail.com](mailto:icm.puraza@gmail.com)

〒664-0015 伊丹市昆陽池2-1 スワンホール 1階

開館時間 午前9時～午後6時

休館日 月曜日 (祝日の場合はその翌日)・年末年始

発行人 中山 光子 編集人 平岩 伊佐子

※本誌に掲載している内容は発行当時のものです。



# 2026 まちプラびより

VOL.05

まちプラ、夏に向かってGO



NPO法人「伊丹日本語学習支援教室」の皆さん

## 登録団体インタビュー

### 「日本語を学んで豊かな人生を」 NPO法人伊丹日本語学習支援教室

NPO法人伊丹日本語学習支援教室は、主に伊丹に住む外国の人たちに、日本語を教えています。理事長の石井康男さん、副理事長の園和高さん、監事の平井正典さんにお話を伺いました。

活動にあたって、石井さんには忘れられない体験があります。石井さんは10歳の時に、現在の中国東北部で終戦を迎えました。お話によると、石炭運搬用の屋根のない貨車に800人が詰め込まれ、日本への引揚げが始まりました。収容所での生活を経て、1年2か月後に博多港に上陸したのは、そのうちわずか68人でした。その間、泣く泣く我が子を現地の人に託した親もいました。



教室の様子。日本文化の紹介のためカルタをすることも。



(左から) 園さん、石井さん、平井さん。昆陽池公園にて。

「中国の人たちの助けがあって、何とか帰国できた。いつか恩返ししたい」

石井さんはそう考えて、大阪府立高校を定年退職後に62歳で中国に渡り、4つの大学で76歳まで教えました。帰国後は、伊丹日本語学習『つつじの会』に関わってきました。現在はスワンホールでの『日本語学習サロン』など3つの日本語教室で講師をしています。ただ、どの教室も日常会話が中心であり、当時は、外国人実習生を受け入れる企業が増えており、試験へのニーズが高まっていました。

そこで、新たにNPO法人を設立し「日本語能力試験」合格の支援を始めました。日本語能力試験はN1（最上級）からN5（入門級）の5段階に分かれています。なかでも、在留期間の制限がなく家族を呼ぶことができる在留資格『特定技能2号』への昇格には、N3以上の合格が必要です。アジアを中心とした様々な国籍の人たちが、昼間働き、晩に伊丹日本語学習支援教室に通っています。昼間働いてクタクタになっていますが、みんな真剣です。

園さんは、定年退職後に社会との接点を持ちたいと考え、日本語教師の仕事を始めました。その後、中国の大学で日本語教師として勤務しました。生徒たちには「日本語を学ぶことは大きな財産になるよ」と説明しています。

もっとも、試験に合格することだけが目的ではありません。伊丹日本語学習支援教室では、外国の人が日本語を学ぶことで、地域の人たちと交流し、充実した生活を送ってほしいという願いで活動しています。平井さんは「受講生はパートナー。教えるというより、支援するという姿勢が大切」と話します。

さらには、日本語教室をきっかけに、教師と生徒という垣根を越えて、お互いが豊かな人生を送ることができたから、こんなに素晴らしいことはありません。石井さんは最後にこう結びました。

「みなさんも、日本語ボランティアをしてみませんか？」

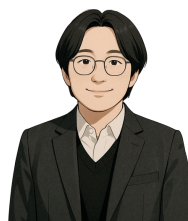
## NPO法人コラム 「資金はどうやって集めるの？」

NPO法人を作ればすぐに助成金が貰えたり、寄付が集まると考えている人がたまにおられます。しかし実際は、法人が努力して実績を積み重ねていかないと、なかなかお金は集まりません。

NPO法人の収益源は大きく分けて、『委託事業』『自主事業』『会費・寄付』『助成金』からなります。委託事業は、公的施設の指定管理が分かりやすい例です。事業規模が大きいのは、福祉系の団体が多いです。

助成金と寄付は多くの団体が力を入れています。成功している団体は、自分たちのミッションを明確にし、活動のフィードバックを積極的に行っています。努力なくして結果はありません。

法人の安定した運営のためには、特定の資金源に頼りすぎない方がいいでしょう。テーブルでも、脚が3本、4本とあった方が安定します。



市民まちづくりプラザ  
宮下 隆二

## 交流会『つながろうITAMI』を開催しました

去る3月7日（土）、交流会『つながろうITAMI』を開催しました。初年度の締めくくりとして企画したもので、多くの方からお申し込みをいただき、1年間のお会いやつながりの積み重ねをあらためて感じる機会となりました。

当日は、参加団体によるPRタイムを実施し、バルーンアートの実演やリフレッシュ体操などもあり、楽しみながら活動を知ってもらえる時間となりました。続く交流タイムでは、BGMが流れるなごやかな雰囲気の中、飲み物や持ち寄りのお菓子を囲みながら歓談が広がり、普段はなかなか出会うことのない分野同士の方々が、自然と会話を交わしていました。

また、2人のまちプラボランティアの皆さんには、受付や進行のサポートだけでなく、会話のきっかけづくりにもご協力いただき、交流会をスムーズに運営することができました。

参加後のアンケートでは、「異なるジャンルの団体と出会えてよかった」「フランクな雰囲気で話しやすかった」といった声が多く寄せられました。2年目のまちプラでは、この交流会で生まれたつながりが、市民活動の広がりにつながるよう取り組んでいきます。



## PICKUP! ピンポイント講座 学ぼう、助成金申請のポイントやコツ



本講座は、自団体の活動や強みをあらためて整理し、助成につながる申請書を書くためのポイントを学ぶ講座として企画しました。講師からは、「助成団体も社会課題の解決を目指す仲間であり、市民活動団体と同じ思いを持っている存在です」という話があり、募集要項を読み込み、主催者の視点を理解することが大切だと、事例を交え解説いただきました。また、グループワークが盛り込まれ、意見交換をしながら理解を深め、さらに団体同士の交流ができる時間となりました。当日は市民活動に取り組む8人の方が参加され、「すぐ実践できる内容で、自信につながった」「ワークシートが具体的に取り組みやすかった」といった感想も寄せられ、助成金申請への第一歩を踏み出すきっかけとなったと感じました。今後も本講座で得た学びを活かし、地域での市民活動がより一層広がっていくことを期待しています。

## PICKUP! 団体活動訪問 NPO法人A&C.P芸術文化振興会



HP



芸術文化を通して、「人や社会を明るく元気にした」という皆さんの思いで活動をされている団体で、今回は、ピアノをだれでも自由に弾くことのできるイベント『ピアノひいてみ亭な〜♪vol.8』の中のミニコンサートに向けた練習を訪問しました。

会場の伊丹アイフォニックホール1階特設会場に一歩足を踏み入ると、黒壁と丸い照明が印象的な空間に、心地よいジャズの音色が響きます。プロの演奏家として活躍するメンバーも参加し、和やかな雰囲気の中にも、音づくりへの真剣さが感じられました。

8月には高校生からシニア層まで参加するアマチュアバンドを応援するための合同ライブ『Break Throw Music Box vol.5』も予定されています。なお、出演者を現在募集中です！（7月20日まで）